甘楽町広報

昭和36年5月15日発行　（毎月15日）　第 21 号

群馬県甘楽郡甘楽町
発行所　大字小幡甲852
甘楽町役場電話(小幡)4
44
編集　総務課広報係
印刷所　誠確堂印刷所

4月の動態

人口	14,814	人
男	7,112	人
女	7,702	人
世帯	2,691	世帯
転入	45	人
転出	93	人
出生	23	人
死亡	7	人

◎5月15日に町税完納組合などが表彰されました。この日表彰された組合は、二三八組合中一七八組合でした。
なお、35年度の町税納税成績は福島地区一〇〇%、新屋地区九九・五九%、秋畑地区九七・一七%、小幡地区九六・六八%でした。

新市町村建設補助事業として、甘楽町は連絡用自動車の購入と、通学用道路の改修を行ないました。　写真は、改修された多井戸～梨木線

新町建設計画樹立

本年度予算は一億八百万円

町長　斉藤八郎

甘楽町発足第3年めを迎え、昭和36年度予算のもとに、新年度が始まりました。ここに、今後の町のすすむべき道、行なうべき事業の一端を述べたいと思います。

昨年6月、新町建設審議会が設置され、新町建設事業の計画について審議を重ねてきましたまず、過去15年から30年間にわたる甘楽町の地勢、気象や、人口、世帯、産業、交通、教育財政等のあらゆることの基礎的調査を行ない、これに基づいて**今後10カ年の基本計画**、**5カ年間の実施計画**をつくり、いろいろの手続きを行なつて決定しました。この内容はとても大きなもので、全部はお知らせできないのが残念ですが、実施計画の大要のみお知らせしたいと思います。

この計画は、生産力の向上と合併の目的である一体性の確保調和と均衡のとれた町政を主眼としています。そこで、第1年めに第一中学校の建設、笹森・白倉線（鎌倉街道）等の改修工事、国有林野の払い下げなどが主なるもので、みな計画どおり完了しています。

第2年め（昭和36年度）からは、鏑川沿岸土地改良事業を基本とし、用排水、あんきよ排水農道などの大きな土地改良と、また、耕土培養、耕種改善、病虫害防除、畜産の奨励、特殊作物、果樹園芸の普及、高度技術の導入などを行ない、生産物の集荷、販売処理の一元化、今後に当面する農業形体の推移により、農業団体の強化のため、三農協の合併を推進し、生産性を高めるとともに、酪農の促進を計画しています。造林計画では個人、町有の山林の高度な活用をはかりたいと思います。また工場誘致と既設工業の振興をはかることにより、年々減少しつつある労働人口をこれらに吸収し、農家二、三男対策とあわせて考えています。

道路や橋の整備については、町道整備はもちろん、小幡・多胡線の新設、また、町内県道の全部を舗装するよう県へ強く要望し、富岡・万場線の拡張を促進して奥地開発をするとともに稲含山をはじめ、各観光施設の充実をし、観光客の招致に努めたいと思います。河川整備では国、県に要請して、国の事業として白倉川、天引川の改修を促進したい計画です。通信関係では、関係官庁へ要請して、電報電話局の統合を行ない、即時通話による利用者の便をはかりたいと思います。

学校施設の整備統合計画としては、第一中学校が36年度に完成予定であり、続いて、すでに完成した小幡小以外の各小学校の給食室を順次新設するとともに、学校の増改移築等を行ない、また、公民館、図書館の新設整備と並行して社会教育強化計画による青年婦人の地位向上をはかりたいと考えます。

民生計画では、保育所及び児童遊園地を整備し、児童を最良の環境により保育したいと考えます。その他授産所の設置、身体障害者及び母子福祉、青少年の不良化防止等により、民生の安定を図りたいと思います。衛生計画では、し尿処理場の設置伝染病予防対策の充実、理想的な家族計画の普及によって、健康的な生活がおくれるようにしたいと思います。なお、簡易水道の拡充、生活改善をすすめ、保健と体位の向上、因習の打破結婚式など諸行事の簡素化をはかり、文化生活の向上をおしすすめたいと思います。

以上のほか全般的行政として**新庁舎を建てて福島、新屋両出張所を廃止し**、事務能率向上と経費の節減を行ない、また自動車等の購入により連絡業務の迅速、広報活動の充実を図り将来は、全世帯を対象とした有線放送の希望をもつています。消防面では、消防ポンプ自動車等の機械器具の老朽化をふせぎおいおい新しくする計画であり新庁舎完成後はその敷地内へ常備消防部を設置し、消防の万全を図りたい計画です。

このほか、**町営住宅の建築**、新農村建設計画、町基本財産の造成など、非常にたくさんのものがあります。この事業費は、実に二億八千百四十九万円のほう大なものになります。この財源は国庫補助が約千九百万円、起債約四千八百万円、一般町費約一億七千七百万円となつています。

教育費が三八・八%

次に、昭和、36年度予算について申し上げますと、総計は別表のとおり、ついに一億円をはるかにこえました。

まず、歳入中町税では、町民税の伸びが所得の伸びに並行して見込まれ、固定資産税では、土地等の平均価格が約五%上昇し、家屋は少し下がる見込みですが、新増築分がありますので全体では増の見込みです。その他の諸税も課税物件の増加によつて、増収な見込まれるわけです。地方交付税では、政府の減税政策に伴ない、反面行政費の増大により、当然増税が見込まれます。その他の歳入は、その事業によつて計算健基が、り、当然はいるものです。

歳出では、消防ポンプの購入道路の整備、第一中学校の完成小幡中の家庭科室の新築、第三中学校の増築、福島、新屋両中学校の整備など。また、社会及び労働施設費、保健衛生費、産業経済費等においても、さきに申し上げました新町建設計画の実施計画を全面的にとり入れています。この実施計画による事業や、本予算執行にあたつても財源が伴なわなければできないことであります。この観点から歳入の三〇%ちかくをしめる町税は、大きな比重となつています。

どうか、この実施計画が確実に施行され、また、36年度予算が順調に執行され、大甘楽町の建設が一歩一歩その足歩をすすめて、住みよい町が完成されますよう、いつそうのご協力をお願いして、36年度当初のごあいさつといたします。

斉藤議長

新議長に斉藤計平氏

飯塚前議長の勇退により

さる4月31日の町議会で甘楽町第2代めの議長に斉藤計平さん（63才）が選ばれ、就任しました。

副議長　桑原木十郎

これは、甘楽町初代議長としてその名議長ぶりを発揮した飯塚長次郎さんが、議会の体質改善と刷新を図ろうとする全議員の気持ちをくんで勇退されたためです。

議会の新機構は、次のとおりです。

議長　斉藤計平

議長就任にあたつて

町議会議長　斉藤計平

日一日と青葉若葉は新緑を増し、すがすがしいさつき晴れのきようこのごろ、住民の皆さまには、ますますご健勝のことと存じます。

わが甘楽町が、発足後まだ2カ年というのに、画期的な町勢発展の道程をたどつていますことは住民一体の成果であつて、真にご同慶にたえません。本町議会は、全員が旧地域感から脱却し、協力一致して、すう高なる責務の貫徹に努力精進していきます。

さて、このたび、初代議長飯塚長次郎君の勇退により、議会人事の更新が行なわれ、不肖わたくしが、後任議長として重責をけがすことになりましたが、薄学鈍才、もとよりその器で※はありません。しかしながら就任後は、住民のみなさまから信愛される尊厳にして明朗なる議会を確立し、町の発展に寄与するため、一意てい身する所存です。どうか、みなさまのご理解とご協力を賜わりますよう切にお願い申上げます。

さいごに、住民のみなさまのご健康と繁栄を心から祈念し、就任のごあいさつとします。

昭和36年度甘楽町歳入歳出予算

歳入 科目	本年度予算額	前年度予算額	本年度予算の百分比
町税	29,584,680	26,093,330	27.37
地方交付税	24,475,000	19,700,000	22.64
公営企業及び財産収入	14,395,550	1,452,780	13.32
分担金及負担金	1,432,900	2,445,000	1.33
使用料及手数料	1,716,635	1,176,240	1.59
国庫支出金	11,052,310	10,848,031	10.22
県支出金	5,450,556	5,132,821	5.04
寄附金	543,000	1,384,420	0.50
繰越金	1,000,000	2,000,000	0.93
雑収入	5,949,600	416,000	5.50
町債	12,500,000	8,200,000	11.56
歳入合計	108,100,431	78,848,621	100.00

歳出 科目	本年度予算額	前年度予算額	本年度予算の百分比
議会費	2,226,000	1,533,000	2.06
役場費	20,038,633	16,673,263	18.54
消防費	5,877,947	3,132,280	5.44
土木費	5,975,400	4,489,400	5.53
教育費	41,938,698	31,307,623	38.80
社会及び労働施設費	2,441,300	1,983,180	2.26
保健衛生費	2,535,350	1,729,385	2.34
産業経済費	13,342,243	12,354,215	12.34
財統計調査費	2,988,390	813,650	2.76
選挙費	231,500	431,150	0.21
公債費	186,700	198,000	0.17
諸支出金	2,386,738	1,645,288	2.21
予備費	7,543,100	2,151,500	6.98
歳出合計	388,432	406,688	0.36
	108,100,431	78,848,622	100.00

おわび

新町建設計画をねりなの今後10カ年の基本計画と、5カ年間の実施計画書を作成するという大きな仕事のため、2月・3月・1月の広報発行を休み、みなさまに、めいわくをおかけしたので、おわびします。今後はさらに勉強し、みんなに読まれるものにしたいと思います。